

当院 GICU で治療を受けられた患者さん及びその家族の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	非心臓手術後におけるトロポニン I 値と術後合併症の検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	麻酔科、周術期集中治療部
研究責任者	教授（特任）、 藤田義人
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	<p>周術期における非心臓術後患者の大規模な臨床研究で (VISION II: JAMA 2017) で、心電図異常や、心疾患の症状がなくても術後のトロポニン値の上昇が術後 30 日の死亡を予測する因子であることが示されました。アメリカの周術期管理のガイドラインでは、術後にトロポニン値を測定することが推奨されています。当院 GICU では、アメリカのガイドラインを参考に術当日、術後 1 日にトロポニン値を測定して心イベントの発生に注意して術後管理を行なっています。しかし、心筋梗塞の発生率が欧米の患者に比較して少ない日本人でトロポニン値の測定が有用であるかどうかは明らかではありません。</p> <p>当院で非心臓手術後に GICU で治療された患者さんで、手術当日および翌日のトロポニン値とその後の心臓合併症の発生の有無の関係を検討することを目的としています。</p>
対象となる患者さん	2018 年 12 月から 2021 年 12 月までに非心臓手術後で GICU に入室された患者さん
研究の方法	<p>定期手術後当日、および翌日の採血データのトロポニン I 値と術後合併症の関係を検討します。</p> <p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。</p>
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2022 年 12 月 31 日
研究に用いる情報	電子カルテから、男女、年齢、身長、体重、手術の種類、採血などの情報を使用します。検査値として、ヘモグロビン、アルブミン、肝機能、腎機能などです。利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表され

	ますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を利用しません。
外部への情報の提供	なし。
情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部麻酔科学講座、周術期集中治療部 担当者：教授（特任） 藤田義人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 37703）